

## 意見の概要と網走市の考え方について

意見に対する網走市の考え方の区分は以下のとおり

- A 意見を受けて案を修正したもの    B 案と意見の趣旨が同様と考えられるもの    C 案を修正していないが、今後の施策の進め方等の参考とするもの  
 D 案に取り入れなかったもの    E 案の内容についての質問等

No	分類	改定原案頁	対応項目	意見	改定案頁	対応項目	区分	対応状況	
								本文修正案	
1	意見照会	10	<b>【脆弱性評価】</b> 1 人命の保護 1-3 大規模津波等による多数の死傷者の発生（津波避難体制の整備）	（要旨） この計画で一番重視すべきことは人命を守ることと記載されており、網走ではこれまでに大規模な津波が来襲したという観測上のデータはないようですが、海の恵みをうけている街として津波に最大限備える必要があると思います。 特に災害弱者である子供たちを守っていく必要性を強く感じますが、海拔の低い位置にある西小、東小、四中ではどの程度の避難計画が準備されているのでしょうか？ 地域の実情にあった実行できる避難計画、北海道の季節にあった避難計画を各学校で作成する必要があると強く感じており、避難訓練もより実践に基づいたものをしていただきたいと思っています。 また、高齢者の避難についても大きな課題だと思っています。居住実態を把握し、素早く非難するためにはどうすべきか各ケースについて町内会など近隣住民が共有する必要があると思います。 先日、紋別に行った際、「ここから津波浸水地域」という標識をいくつも見かけました。このように視覚でアピールすることも危機感を持つためには重要だと感じました。今後網走でもこのような標識が設置されることを希望します。 想定外はなしという姿勢でこの計画を作成されていくと思いますが、これが市民一人一人に浸透し、実行されていく計画であることを強く願います。	-	<b>【脆弱性評価】</b> 1 人命の保護 1-3 大規模津波等による多数の死傷者の発生（津波避難体制の整備）	C	西小、東小、四中など海拔の低い位置に設置された市立学校については、学校が独自に定めた安全計画や危機管理マニュアル等を基に、津波を想定した避難訓練を毎年定期的実施されていると承知しております。 平成25年3月に策定した「網走市津波避難計画」では、町内会など地域の関係者のご意見を踏まえ、地域の実情にあった地域版の避難計画も策定しており、学校においてもそうした計画や市が作成した津波ハザードマップなどを各学校の避難計画作成や避難訓練の実施に活用いただいているものと考えております。 また、高齢者など災害時の避難に配慮が必要な方々への対応は、当市においても課題と認識しており、町内会や民生委員など地域の支援者との連携を強め、共助による地域防災体制の整備を進めております。 当市においても「網走市津波避難計画」策定時において、居住地域の海拔を平時から意識し、津波災害に対する警戒と防災意識を高めていただくため、海拔表示板を市内各所に設置するなどの取り組みを進めておりますが、いただいた意見については、今後の施策の進め方の参考とさせていただきます。	修正なし